

2019-20 年度 第 2 回 インターアクト小委員会 議 事 録

開催日時 2019 年 7 月 12 日 (金) 18:30~19:20
開催場所 ガバナー事務所会議室
議事録作成人 委員 三木 健義

次 第

1. 開会挨拶 RID2680 2019-20 年度 IA 小委員長 中本 広太
2. 挨拶 RID2680 ガバナー 浅木 幸雄
3. 出席者紹介 (正確に記録してください)
浅木幸雄ガバナー、村尾憲一郎代表幹事、坂東隆弘社会奉仕副委員長、
藤井恵一社会奉仕副委員長、中本広太郎 IA 小委員長、
IA 小委員会委員：三木健義 (姫路)
4. 議事録及び議事録署名人指名 議事録 三木 健義 議事録署名人 浅木 幸雄
5. 審議事項及び協議事項
 - ① 審議内容及び協議内容
第 37 回 IA 地区年次大会について、危機管理について、IA 小委員会開催日程について

②意見

第 37 回 IA 地区年次大会

<中本広太郎 IA 小委員長より説明>

前回委員会の結論通り、主催をガバナーに、主管を氷上高校インターアクトクラブ、協同主管柏原 RC にて、1 泊 2 日で実施、案内発信及び集計を柏原 RC が行うこととした。

次第については、主催者挨拶を浅木ガバナーが行い、昨年度青少年奉仕委員長の挨拶を入れていないことに準拠し、社会奉仕委員長の挨拶は入れずにインターアクト小委員長及び主管インターアクトクラブより趣旨説明を行うようにしている。

→インターアクト小委員長の趣旨説明を地区年次大会趣旨説明とし、細かい大会の趣旨説明をインターアクトクラブより行うようにしてはどうか。

[実施要項について]

<坂東社会奉仕副委員長・三木健義委員より状況説明>

年次大会の目的や実施する内容は、昨年青少年奉仕マニュアルに記載している。主管インターアクトクラブ決定の手順などは、昨年議論し、顧問会の確認をとる段階であるが、まだ完成していない。

→昨年度長井インターアクト小委員長から、現段階の引き継ぎを受けることが必要
→インターアクト創立一覧表、年次大会開催一覧表、顧問会名簿を委員会・顧問会で配
付し、年次大会の受け持ち順を認識してもらうことが必要

[予算について]

<中本委員長より説明>

ロータクト小委員会では、社会奉仕正副委員長と 4 者で打合せの上社会奉仕委員会
予算から県外など奉仕プロジェクト特別会計よりの補助金申請をするものを除き支出
する予定となっている。この年次大会についてどうすべきか意見を伺いたい。

→同様に社会奉仕正副委員長とインターアクト小委員長にて議論し、柏原 RC の意見も
聞き、委員会全体の支出予定や、費用の妥当性についても検討しながら、社会奉仕委
員会の費用（本会計）からの支出をお願いしたい。

→支出項目のそれぞれについての根拠については、決算時点の費用根拠が良い。

→余剰金についての質問があり、坂東社会奉仕副委員長（柏原 RC）より、バス代等余
分に必要になるケースを想定しての予備を考えているという答弁があった。

→報告書の作成の費用を考慮してはどうかという意見があった。

[次第及び概要について]

坂東社会奉仕副委員長（柏原 RC）より、予算書の登録人数についての増減の言及があ
り、また、アイスブレイクについては、青垣で有名な人を行うものであるという説明と、
保護者の承諾書と関係者のボランティア誓約書をもらうこと及び危機管理マニュアル
を作成中であるということ、次第には記載が抜けているが、委員会と顧問会の開催も予
定しているという説明があった。

→記念撮影を終了時ではなく 1 日目に実施してはどうかという意見があった。

→大会当日の委員会及び顧問会に、柏原 RC、神崎 RC も参加してもらうようにしては
どうかという意見があった。

→神崎 RC のメンバーを次年度地区年次大会開催予定であることから、委員会メンバ
ーに加えてはどうかという意見があった。

→年次大会の中で、委員会開催があることを委員会メンバーに周知しておく必要があ
るのではという意見があった。

危機管理

<中本小委員長より説明>

先週全国危機管理委員会に、黒田建一危機管理委員長、坂東隆弘社会奉仕副委員長、白
井務子青少年交換副委員長と共に参加し、説明を受けた中で、インターアクトに関して、
ロータリー章典（2.120.3）の、青少年の旅行および宿泊に記載の通り、

- ・未成年者（今後未成年者及びインターアクターという表現に変更予定）が、地元地域
の外に旅行または宿泊を伴うものについては、青少年参加者全員の両親または保護
者から事前に書面による許可が必要になること
- ・自宅から 150 マイル以上離れた場所や母国外に旅行する場合は、両親または保護者
への旅行保険提供を義務づけること

及びロータリー章典（2.120.）青少年の保護に記載の

・ボランティア誓約書が必要

という説明があった。

また、インターアクト海外研修旅行については、資料提示の申請書に記載の上、ロータリー派遣クラブ会長、地区インターアクト・青少年交換委員長、地区ガバナー及び受入クラブ会長、クラブ担当委員長（幹事・青少年交換委員長）、地区ガバナーの署名が必要になるという説明があった。

→保護者の承諾書が得られないインターアクターの参加はどうなるのか

→参加をお断りせざるを得ない。

→豊岡総合インターアクトクラブの台湾への研修や、百合学院インターアクトクラブや神戸大学附属中学高等学校インターアクトクラブの海外研修の予定なども耳にしており、受入地区がRIの承認を受けていないケースなどもあり、しっかりと説明をする必要がある。

→年次大会で、委員会及び顧問会全体の会合にて説明を行うこととする。

→上記の手順が難しい場合、ロータリーの名前を冠しない学校行事という考えで行うよう要請することとなる。

→全国危機管理委員会参加者だけでなく、ガバナーエレクトやガバナーノミニーにも理解してもらう必要がある。

IA 小委員会開催日程について

中本小委員長により案を作成中という説明があった。

③結論

第37回地区年次大会について

- ・大会趣旨説明について、年次大会の趣旨説明を中本委員長が行い、今大会の趣旨説明を氷上高校 IAC が行う
- ・前年度長井インターアクト小委員長より、大会実施要項の現時点のもの及び目的・内容を引き継ぐ
- ・予算については、社会奉仕委員会正副委員長及びインターアクト小委員長にて柏原 RC の意見も聞きなが委員会全体での妥当性を考慮して社会奉仕委員会予算から支出する。
- ・予算に報告書の費用を含める
- ・次第に委員会及び顧問会を追記し、記念撮影を1日目に実施を考慮する。
- ・神崎 RC メンバーを地区委員会に加えることを考慮する
- ・年次大会中に小委員会があることを委員会メンバーに周知する。

危機管理

- ・インターアクトについては重要な変更であり、年次大会で委員会及び顧問会メンバーにしっかりと説明を行う。
- ・ガバナーエレクト及びガバナーノミニーにも内容を伝える。

6. 総 評 RID2680 社会奉仕委員会副委員長 坂東 隆弘

7. 閉 会

議事録確認日	2019/8/22
ガバナー署名	坂東 隆弘